

県議会議員

あらい、絹世の「磯っ子」レポート

 県政を
もっと
身近に

<http://www.araikinuyo.jp>

重点施策、環境、福祉、児童、教育などに着目事項 総額約4兆2千億円、今年度の県当初予算案を審議

2月12日に開会した2020年第1回神奈川県議会定例会に今年度当初予算案が提案・上程され、3月25日開会の本会議で採決される見込みです。一般会計1兆9,035億円余、特別会計2兆1,422億円余、企業会計1,486億円余の合計4兆1,944億円余で、2019年度の相当額(3月提案の骨格予算に6月の補正分をプラス)より3.8%の増となっています。見込みより税収が少ないなど苦しい財政状況下で、貯金にあたる財政調整基金の取り崩し、減収補填債の発行などで穴埋めしており、新規発行の県債は1,834億円に上ります。

一般会計予算案で県は重点的な取り組みとして「かながわ気候非常事態宣言(今年2月)に沿った」「東京2020オリンピック・パラリンピック大会の成功とレガシーの継承に向けた」「かながわランドデザイン(総合計画)第3期実施計画の柱事項」「SDGsの取り組みの推進」に連なるものを挙げています。宣言は昨秋の台風や大雨による甚大な風水害被害を契機に行ったもので、風水害対策等の強化に約400億円を計上しています。オリ・パラ関連では、神奈川県育ちのアスリートを早期・計画的に発掘するため9~12歳を対象に県スポーツセンターで運動能力テストやタレント育成プログラムなどを行う事業を新たに設けるなどしています。国連のSDGs(2030年までの開発目標・行動計画)と同じ方向性を謳っている県では環境対策に力を入れ、2050年の脱炭素社会の実現に向けた取り組みも掲げておりますが、企業庁の水力発電で得られる電気料金徴収のうち環境価値分の相当額を積み立て、気候変動への取り組みを推進するための基金を設ける、11月にアジアで初めてとなるSDGsアクションフェスティバル(世界各地での取り組みの紹介)を開催します。

私の所属する厚生常任委員会で着目している事業に医療、福祉、児童の育成、教育に関するものがあります。東京2020オリンピック・パラリンピックに関連して政府は栄養サミットを計画していますが、県でも高齢者の栄養対策を加速させるなどの狙いで国際機関の関係者などによるシンポジウムを開くことにしています。また新たに児童虐待未然防止強化事業費も計上され、体罰によらない子育てを啓発するパンフを作製し、市町村で活用してもらう内容です。私立高校などの生徒への入学金の補助額の増、授業料補助枠の拡大により両者の実質無償化を図ることにし、予算として37億8,706万円を計上しています。



コレが言いたい!

昨年の台風15・19号による風水害被害を受け、2月に「かながわ気候非常事態宣言」を発信し、風水害被害対策として約400億円の予算を計上しています。風水害被害対策には市町村や企業、団体など多様な主体の協力・協働が必要ですので、関係機関と連携を取る取り組みを進めるべきです。また、かながわランドデザイン第三期実施計画に基づき予算編成されていますが、知事の目玉施策である、「未病改善の取り組み」「ヘルスケア・ニューフロンティア」などは、今後の経済情勢や県行財政の影響などの要因によって必要が生じれば、計画に位置付けられた事業であっても見直す必要があります。

 今月の
ひと言

新型コロナウイルス感染症に関する一般的な相談窓口

◎神奈川県新型コロナウイルス感染症専用ダイヤル:045-285-0536(受付時間:9時から21時平日及び休日とも) ◎横浜市新型コロナウイルス感染症コールセンター:045-550-5530(受付時間:9時から21時平日及び休日とも)

磯子あれ？これ？

宝積寺（磯子区上町）

宝積寺の開創に関する資料などは、江戸時代の中頃に焼失して殆ど残っていません。宝積寺の本寺である南区の「宝生寺」に残っている資料などによると、鎌倉時代(1190)年頃とされています。

資料には「本地仏不動を体内におさめ社を宝積寺境内に建て、根岸村の鎮守にした」と記されています。

本尊の不動明王は、木像で高さが2尺1寸(約63cm)智証(ちしょう)大師(たいし)円珍(えんちん)の作(860年頃)といわれています。不動明王の立像の殆どが右手に宝剣、左手に藕索(けんさく)(縄のようなもの)を持っていますが、宝積寺所蔵の像は両手に宝剣を持つ珍しい形をしており住職の話によると「世の中に2体しかない」という貴重なものです。

また同寺敷地内にはサントリーホールを設計した「永田音響設計」による音楽ホール(テラホール)があり、「グロトリアン」という日本では珍しいグランドピアノが置かれています。以前ウィーンの3羽ガラスといわれたピアニストの故イェルク・デームス氏が来日した際にCD収録した場所でもあります。

参考:磯子の史話、宝積寺住職のはなし



宝積寺「不動明王像」

活動報告

2月26日(水)、下記の内容について一般質問を行いました。

○国の打ち出した「就職氷河期世代活躍支援プラン」を踏まえ、就職氷河期世代を含むひきこもり状態にある方の就労や社会参加に向けた支援を、どのように進めていくのか。
 ○企業において、従業員の仕事と介護の両立支援に向けた取組が進んでいくよう、今後どのように取り組んでいこうと考えているか。
 ○日本語に不慣れな外国籍県民や、障がい者の中でも特に耳の不自由な方は、電話や面接による相談が難しいと思われる。こうした方々に対してしっかりと相談対応できる体制を、今後どのように対応していくのか。
 ○現在、堀割川の河口付近で工事が進められている親水施設の整備について、今後どのように取り組んでいくのか。
 ○人生100年時代を迎える中、高校生のうちから生涯に渡る計画的な長期の資産形成やリスク管理について学ぶ金融教育が重要であると考えますが、県立高校における金融教育について、今後どのように取り組んでいくのか。
 ○家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケアを引き受け、家事や家族の世話、そして介護などを行っている「ヤングケアラー」に対しては学校現場でも適切に対応していく必要がある。県立高校におけるヤングケアラーについて、学校現場における啓発にどのように取り組んでいくのか。
 ○県立高校の再編・統合に伴う教育活動等の新校への引き継ぎについて。
 ○子どもを犯罪から守るための対策について。

あらい絹世 プロフィール

- 昭和43年3月8日 横浜市磯子区生まれ
- 横浜雙葉小・中・高等学校卒業
- 明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- 日商岩井㈱ / ㈱メタルワン
- 自民党かながわ政治大学12期生
- 平成31年4月 県議会議員3期目当選
- 厚生常任委員会委員長
- 議会改革検討会議委員
- グランドデザイン調査特別委員会委員
- かながわ自民党女性議員局長

